



教育員会・事業委員会合同開催



9月12日(火)14:30より、特殊陶業市民会館会議室において第35回教育委員会及び第40回事業委員会が合同で開催されました。会議に先立ち平岩理事長からのあいさつに続き、飯島教育委員長及び戸澤委員長の挨拶がありその後、各委員会に分かれて、議題を検討しました。

教育員会は9名の出席があり、決定内容は次のとおりです。

- ① 高度化講習開催にあたり、準備品、問題点について
- ② 教育委員会・特認・推奨工場部会合同研修の開催は、11月22日(木)

愛知県自動車会館会議室にて、「車体整備事業者におけるコンプライアンス及び特定整備認証」と題して、中部運輸局自動車技術安全部長に講和をお願いする。詳細については、飯島教育委員長と金原特認部会長で再検討する。

- ③ 車体整備士講習の指導員について、今後の活動に新しい指導員が必要となるため指導員育成のための提案があった。事業委員会については、賛助会員を交え10名の出席があり、11月16日(木)に開催する、「賛助会員との意見交換会」の進行について、役割分担を決定しました。

戸澤事業委員長から、来年度の意見交換会の懇親会について、毎回開催している場所の名鉄百貨店が閉店となるため、新たな場所を皆さんで提案していただきたいと申し入れがあった。



中部車協連協議会議開催

9月22日(金)14:30より特殊陶業市民会館会議室において第48回中部車協連協議会が開催されました。今年度2回目の開催で平岩会長が就任して初めて対面開催でした。

今回福井車協は、都合により欠席になりました。また、オブザーバーとして愛知から、戸澤副理事長、長谷川副理事長、金原特認部会長、岐阜からは篠田統括委員長の出席があり10名の出席により開催されました。

会議の冒頭、平岩会長からの挨拶の後、今年度会長を勇退された金原元会長に恒例となりました餞別が手渡せられました。

会議の内容は、各県の高度化講習の取り組み状況、各県の車体整備士講習開催状況、特定整備の取り組み状況、篠田統括委員長から技術・調査委員の報告事項、平岩会長から日車溶連の動き、などが議論されました。

会議の後は有志による懇親会が行われ、中部の絆がより一層深まりました。



日車協連「全国ニュース」配信方法の変更のお知らせ

組合員の皆様に4半期ごとに送付しています「日車協連全国ニュース」は7月号の発刊で最後になりました。今後はWEB版に切り替え、過去の「全国ニュース」の歴史等の記事を記載することとしています。7月7日から発刊されていますので、

日車協連のホームページからご確認ください。<https://jabra.or.jp/mypage/>
会員ページログイン後 「日車協連ニュースWEB版」をクリックしてください。

特定整備工場の申請状況

特定整備工場制度開始に伴う取得済工場数は、9月末現在愛知県全体で3,633工場（愛整振情報）が電子制御装置整備を取得しており、愛車協組合員（130社）の取得社数は次のとおりです。

- ① 整備主任者等資格取得講習者数：142人
- ② 電子制御装置整備認証取得者数：103社
- ③ ②の内電子制御装置整備のみの取得者数：15社



賛助会員との意見交換会のご案内

第10回賛助会員との意見交換会は以下のとおり開催します。

【開催日時】：

11月16日（木）「12時45分より受付」

意見交換会：13時15分～16時15分

懇親会：16時45分～19時45分

【場 所】

意見交換会：尾張一宮駅iビル2階大会議室 TEL・0586-28-9153

懇親会：中華レストラン「富泰楼」名鉄百貨店一宮店7階（会費¥5,000）

出席の連絡は、「出席連絡表」を10月27日（金）までにFAX又はメールでご連絡ください。

「出席連絡表」等詳細は愛車協HPの「新着情報」をご覧ください。

<https://www.aishakyo.jp/news/topics1/>



インボイス事業者登録番号取得のお知らせ

令和5年度10月1日から適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入されました。

このため、「適格請求書発行事業者」が交付する「適格請求書」の保存が仕入税額控除の対象要件となります。愛知県自動車車体整備協同組合においても登録申請手続きを行い、適格請求書発行事業者登録番号を取得しましたのでお知らせします。

愛知県自動車車体整備協同組合： **適格請求書発行事業者登録番号 T4180005004347**

インボイス制度対応に伴い令和5年10月から領収書・請求書に「適格請求者発行事業者登録番号」を記載します。



余 談

ようやく、朝夕は涼しく、上着の素材にも気を遣わなければいけない季節になってきました。先月は、まさに「あっという間」に時間が流れ、会議の準備などやや追われる日々を過ごしていました。来月最大のイベントは何といても、50人規模の賛助会員と組合員の意見交換会です。組合員と賛助会員の1年に1度の最大の交流の場ですから、皆さまの参加をお待ちしています。